

解説

- ・ マーベルコミックスに「What If! ?」（もしも! ?）なるシリーズがあるように

DCコミックスではもしもヒーロー達がこうだったら...なシリーズ、「Elseworld」（エルスワールド）を発刊

英数

ア行

エルスワールド・Annual

- ・ DCコミックAnnualシリーズ・1994年度
 - ・ 正史世界とはちがう世界、舞台は未来・過去など。i f 作品・読み切り
 - ・ 例として荒廃したメトロポリスで戦うスーパーボーイ、アメリカ南北戦争を舞台にスーパーマンが？
-

カ行

キングダム・カム

- ・ ご存知、アレックス・ロス&マーク・ウェイド作品。日本語版も出版された。
- ・ デイリープラネットの面々がジョーカーに殺されたところから異世界が舞台。

キングダム

- ・ 上記キングダム・カム続編、ゴッグなる新キャラ誕生
- ・ バットマン、ロビンの子供らによる前作『キングダム・カム』後日談
- ・ GOG（ゴッグ）なる新キャラクターの登場、マゴッグとは別人？
- ・ ラストは正史世界のスーパーマン達との競演、『ハイパータイム』なる現象に遭遇

ゴールデンエイジ

- ・ 原作脚本：ジェームズ・ロビンソン（スターマンシリーズ）
 - スーパーマンとバットマンが存在しない点から異世界
 - ロビンソンいわく「DCヒーローは他にもこんなにいるんだぞ？」
- ・ 第2次世界大戦後、愛国者アメリカマンダーが改造人間ダイナマンを誕生させる
- ・ 一方、ひっそり暮らすマンハンターを付け狙う黒い影とは？

意外な秘密と陰謀があきらかに？

サ行

JLA: アクト・オブ・ゴッド (JLA: Act of God)

- 超能力が突如消失をしたスーパーヒーローのその後を描いた問題作・全3話
- スーパーマンがすねて酒を飲み、飲んだくれになる??
- 原作脚本：デイヴ・ロス (Dave・ross)

JLA : ザ・ネイル (JLA: The Nail)

JLA : ショーグン・オブ・スティー爾 (JLA: SHOGUN OF STEEL)

スーパーマン&バットマン：ワールド・ファネスト (Superman and Batman: World's Funnest)

- 当然、IF作品・読み切り、2000年度発行
- 悪戯キャラ、Mrムクイズ&バットマイトが起こすDCユニバースの多次元破壊!?
- 脚本はスプラッター系ギャグ『チーズ&ミルク』のエヴァン・ドーキン (EVAN・DORKIN)
- デイブ・ギボンズ (ウォッチメン)、デヴィッド・マズツケリ (デアデビル:ボーン・アゲイン バットマン:イヤークワン)
- フランク・ミラー、アレックス・ロスといった日本でも知られるアーティスト他数名が参加
- マニアックなネタ満載

スーパーマン&バットマン：ジェネレーションズ (Superman & Batman: Generations)

- 脚本・作画：ジョン・バーン
 - 深い歴史を持つDCヒーロー達が実際の事件騒動を体験していく世界
 - 小道具・背景に「旧・孤独の要塞」などといった物から正史世界とはかなり違うジョン・バーン節が炸裂
 - 人気好評につき、第2弾、第3弾も出された。
- 第1弾目はスーパーマン&バットマンから始まり息子娘のラブロマンス、そしてスーパーマンJrのベトナムでの戦死?
- 第2弾目はJSAらのメンバー達との交流、さらに第1弾では語られなかったエピソードなど
- 第3弾目は未来が舞台

スーパーマン：レッドサン (Superman: Red Son)

- スーパーマンがアメリカではなく冷戦時のソビエト連邦に着陸していたら、というif作品。
- スーパーマンがスターリンの後継者としてソビエト連邦の独裁者となる。
- そもそもスターリンとは本名ではなく「鋼鉄の男」という意味のペンネームで、それをスーパーマンの異名「鋼鉄の男」と引っ掛けたシリーズ。
- 脚本：マーク・ミラー

スーパーマン：ワットエバー・ハップンド・トゥ・マン・オブ・トゥモロー？ (Superman: Whatever Happened to the Man of Tomorrow?)

- アラン・ムーアの手によるスーパーマンの最終回。
- 2010年、小学館集英社プロダクションから『スーパーマン:ザ・ラスト・エピソード』として翻訳出版された。

スーパーマン：ダークサイド

- その名の通りスーパーマンが地球アメリカではなく惑星アポコリプスでダークサイドに拾われたら...なIf作品

スーパーマン：モンスター (The Superman Monster)

- スーパーマン演じる、古典ホラー「フランケンシュタインの怪物」??

スーパーマンvsターミネーター (Superman vs. The Terminator: Death to the Future)

- 全4話・ダークホース社クロスオーバー
- 映画「ターミネーター」での世界観による、荒廃した未来世界で戦うスーパーマンファミリー

サン オブ スーパーマン (Son of SUPERMAN)

- その名の通り『スーパーマンの息子』
- 近未来、1人の少年がある日超能力に目覚め父親が何者かを知ること
- アンディ・ヘルファー氏による編集?

スーパ - マン インク (SUPERMAN . INC)

- IF作品・スーパーマンが狂信的キリスト信者に拾われたら？
- 苦労の末スーパーパワーでいちやくバスケット選手
- さらに『S字マーク』でマーチャンダイジング（特許権利？）で大儲け！
- ここで性格が原因で失敗し破産するもの・・・??
- これもアンディによる編集、彼曰く「大人の自分が読んでも真剣に考えさせられる作品に

したいんだ」

タ行

タイタンズ：ゲー・チョコキ・パー

- ある意味カルトな？人気を誇るアダム・ウォーレンが描くタイタンズ
- 舞台は未来、宇宙コロニー。警備員達が心機一転してタイタンズを結成
- 正史世界のヒーローとは赤の他人
- いわゆる『タイタンズごっこ』である

タンジェントコミックス (Tangent Comics)

- 1996年刊行シリーズ？好評で翌年にも続編・新作が出された。
 - フラッシュ、グリーンランタン、といったキャラクター達が女性。能力も物語もかなり異なる
 - バットマンは鎧のヴィジランテ、スーパーマンは黒人超能力者！
 - ちなみにジョーカーも登場、三人組のヒロインである
 - 最近になってタンジェントヒーローが正史世界のスーパーマン達と競演が行われた。
-

ナ行

ハ行

バットマン：ゴッサム・バイ・ガスライト

- ご存知エルスワールドの原点。小学館より出版されていた「バットマン/ヘルボーイ/スターマン」に日本語版が収録されていた。
- 脚本：ブライアン・オーガスティン、マーク・ウェイド（キングダムカム）
- 作画：マイク・ミニョーラ（ヘルボーイ）

バットマン：ザ・ダークナイト・リターンズ (Batman: The Dark Knight Returns)

バットマン：ザ・ダークナイト・ストライクス・アゲイン (Batman: The Dark Knight Strikes Again)

- 通称「DKR」、「DK2」
- 傑作と名高い、老バットマンの復活を描いた作品及びその続編。
- 本作におけるバットマンの性格設定は、その後の正史バットマンにもやや反映されていく

- ことになる。
- 脚本・作画：フランク・ミラー
- 過去に二度、日本語版が出版されている

バットマン：イン・ダーkest・ナイト (Batman: In Darkest Night)

- ゴッサムシティ守護者はグリーンランタン！？
- もちろん中身はブルース・ウェイン？

バットマン：スリルキラー (Batman: Thrillkiller)

- 作画：ダン・ブレレトン (Dan Brereton)

バットマン：モンスター

- Batman: Castle of the Batかもしれません。
- メアリー・シェリーのフランケンシュタインがネタ元になっているかも
- タイトル違っていただけじゃない
- 内容は確か、狂科学者ブルース・ウェインがバットマンなる怪物を作り上げる？

バットマン：ブラッドストーム

- バットマンが吸血鬼になってしまった物語
- 猫娘のキャットウーマンも登場

バットマン・ファットエバー・ハブドゥ・トゥ・ザ・コープド・クルセイダー (Batman: Whatever Happened to the Caped Crusader?)

- 直訳すると『ケープを着た守護者に何が起きたのか？』
- 脚本：ニール・ゲイマン、バットマンの最終回特集
- 2010年、翻訳出版される「バットマン：ラストエピソード」の原本

マ行

ヤ行

ラ行

レジェント・オブ・デッド・アース

- DCコミックANNALシリーズ・1996年度
- 正史世界より何百年後、何千年後か未来が舞台、i f 作品・読み切り
- 例をあげると『バットマン』『ロビン』宇宙コロニー内でバットマン、あるいはロビンを名乗るヴィジランテが活躍。
- 『スーパーマン』地球がみなスーパーマンと同じ能力者であふれかえった物語、ビザロを主役にした物語など。
- 他に古代文明を思わせる世界で『スーパーボーイ』なる人物が誕生・活躍。

リアル・ワールド

- DCヒーローを現実世界の中で描く番外編シリーズ
- 例として『スーパーマン』1950年代、胸にS字マークのタトゥーをつけた監獄のボス。その名はスーパーマン？
- 『バットマン』知的障害者の中年男がバットマンのコスプレをして大活躍??
- 担当編集者：アンディ・ヘルファー

ワ行

参考資料：ファッション雑誌ブルータス499（2002）
その他